

霊場巡り、「三十三」と「八十八」の由来は？

札所を時計回りに
巡礼することを「順打ち」、
逆から回ることを「逆打ち」という。

霊

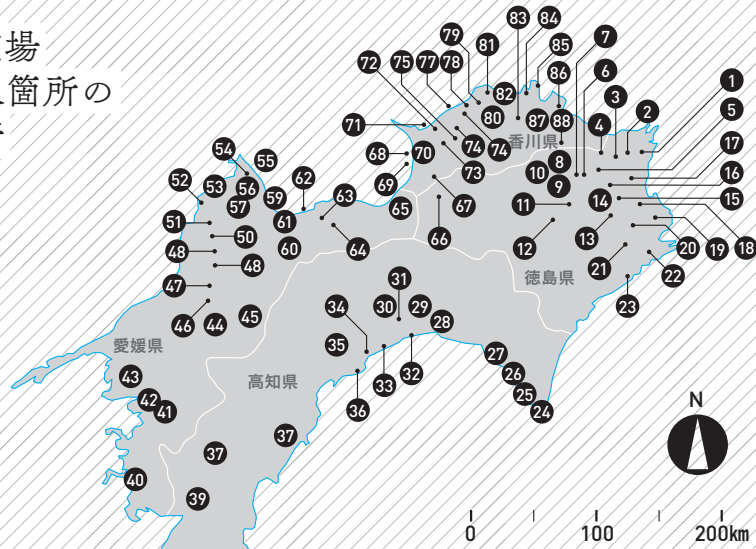
場巡りで代表的なのが三十三観音と、八十八箇所
の霊場巡りである。では、「三十三」と「八十八」は
何を意味しているのか。33という数字は、観音菩薩が33の
姿に化身して、衆生を苦しみから救ってくれるという観
音信仰に由来する。観世音を安置した33カ所の霊場を巡れ
ば、現世で犯した罪が許され、極楽往生できると信じられ
ているのだ。三十三カ所の札所巡りで最も古いのが、和歌
山、大阪、奈良、京都、滋賀、兵庫、岐阜の7府県に点在
する「西国三十三所観音霊場」で、関東7都県を巡る「坂
東三十三箇所観音霊場」と、埼玉県の「秩父三十四箇所観
音霊場」を合わせて「百観音」といっている。

四国八十八箇所の88は、男の厄年の42と女の厄年の33、
子供の厄年の13を合わせた数に由来するという説が一般的
で、俗界32と色界28、無色界28を加えた数に由来するとい
う説や、人間が持っている88の煩惱に由来する説もある。
霊場に参拝することを「打つ」というが、八十八箇所の
札所を1番から時計回りに順序よく巡礼することを「順打

ち」、逆から巡ることを「逆打ち」という。逆打ちにまっ
わる衛門三郎という伝説上の人物がいた。伊予国の豪商で
あった衛門三郎は、屋敷の門前で恵みを乞うみすばらしい
身なりの僧を、迷惑がって追い返した。翌日も門前に僧が
現れ、その翌日も現れた。三郎はその都度、その僧を追い
返した。8日目、三郎はついに堪忍袋の緒が切れて、僧が
持っていた鉢をたたき落として8つに割ってしまった。僧
はそれから姿を見せなくなった。

だが、三郎の8人の子供は毎年1人ずつ亡くなっていき、
8年目にはすべての子を亡くした。三郎はみすばらしい姿
の僧が弘法大師であったことを後から知り、自分が犯した
罪の深さを悟った。弘法大師に許しを請うため四国遍路の
旅に出たが、何回巡っても大師に巡り合うことができない。
それでも諦め切れない三郎は、八十八箇所を逆から回り始
めた。遍路の途中で三郎は病に倒れ絶命するかと思われた
が、最期になってやっと願いが叶い、大師に巡り合っ
て罪を許してもらったというのだ。

四国霊場 八十八箇所の 全札所



四国霊場八十八箇所

札所	霊場	所在地
*発心の道場 (阿波・徳島県)		
1	霊山寺	鳴門市
2	極楽寺	〃
3	金泉寺	板野町
4	大日寺	〃
5	地藏寺	〃
6	安楽寺	上板町
7	十楽寺	阿波市
8	熊谷寺	〃
9	法輪寺	〃
10	切幡寺	〃
11	藤井寺	吉野川市
12	焼山寺	神山町
13	大日寺	徳島市
14	常楽寺	〃
15	国分寺	〃
16	観音寺	〃
17	井戸寺	〃
18	恩山寺	小松島市
19	立江寺	〃
20	鶴林寺	勝浦町
21	太龍寺	阿南市
22	平等寺	〃
23	薬王寺	美波町
*修行の道場 (土佐・高知県)		
24	最御崎寺	室戸市
25	津照寺	〃
26	金剛頂寺	〃
27	神峯寺	安田町
28	大日寺	香南市
29	国分寺	南国市
30	善楽寺	高知市
31	竹林寺	〃
32	禪師峰寺	南国市
33	雪隠寺	高知市
34	種間寺	〃
35	清瀧寺	土佐市
36	青龍寺	〃
37	岩本寺	四万十町
38	金剛福寺	土佐清水市
39	延光寺	宿毛市
*菩薩の道場 (伊予・愛媛県)		
40	観自在寺	愛南町
41	龍光寺	宇和島市
42	佛木寺	〃
43	明石寺	西予市
44	大寶寺	久万高原町
45	岩屋寺	〃
46	浄瑠璃寺	松山市
47	八坂寺	〃
48	西林寺	〃
49	浄土寺	〃
50	繁多寺	〃
51	石手寺	〃
52	太山寺	〃
53	圓明寺	〃
54	延命寺	今治市
55	南光坊	〃
56	泰山寺	〃
57	栄福寺	〃
58	仙遊寺	〃
59	圓分寺	〃
60	横峰寺	西条市
61	香園寺	〃
62	宝寿寺	〃
63	吉祥寺	〃
64	前神寺	〃
65	三角寺	四国中央市
*涅槃の道場 (讃岐・香川県)		
66	雲辺寺	三好市 (徳島県)
67	大興寺	三豊市
68	神恵院	観音寺市
69	観音寺	〃
70	本山寺	三豊市
71	弥谷寺	〃
72	曼荼羅寺	善通寺市
73	出釈迦寺	〃
74	甲山寺	〃
75	善通寺	〃
76	金倉寺	〃
77	道隆寺	多度津町
78	郷照寺	宇多津町
79	天皇寺	坂出市
80	國分寺	高松市
81	白峯寺	坂出市
82	根香寺	高松市
83	一宮寺	〃
84	屋島寺	〃
85	八栗寺	〃
86	志度寺	さぬき市
87	長尾寺	〃
88	大窪寺	〃